

港お仕事取材 最終回 ～徳島の魅力、まだまだこんなものじゃない！～

皆さんは港についてどれくらい知っていますか？本コーナーでは、港に携わる方々の仕事について、数回に分けて紹介しています。昨年の秋号、冬号に引き続き、港のにぎわい関係のお仕事にご尽力されている株式会社Uプロジェクトの酒井大輔さんからお話を伺いました。

Q1 酒井さんが徳島県の地域活性化に取り組むようになった経緯を教えてください。

A 私は東京の民間企業で地域活性化に関する仕事をしていましたが、都市部に在住しながら地域活性化を行うことに限界を感じていました。より効果的に地域活性化を行うために、地方に移住して活動してみようと思い徳島県にきました。現在は、小松島市と連携して地域活性化に取り組んだり、東京で徳島県の魅力を発信する商業施設の運営に関わっています。



Uプロジェクト 酒井さん

Q2 地域と連携してどのようなことをされていますか？

A クルーズ船寄港時のお出迎えや寄港地ツアーの内容、みなとオアシス内にある交流スペース等の利用を促すアイデア等を一緒に考え、徳島県や小松島市とともに実行しています。例えば、みなとオアシス2階の交流スペースを整備したこともその一つです。地元の学生と企業の交流拠点として有効活用し、見聞を広げ、彼らの将来に繋がるような場所にしたいです。また、学生との関わりとして、週1回小松島高校において外部講師として授業を行っています。授業では、小松島市の抱える問題について解決策を各班で考えてもらい、最終的には、とりまとめた意見や解決策を小松島市に提案する予定です。このように、行政だけでなく学生も巻き込んだ地域活性化に取り組んでいます。



Q3 今後はみなとオアシスをどのように活用していきたいですか？

A 約30年前、本港地区にはフェリーが就航し、みなとオアシス(当時のフェリーターミナル)は人流の拠点になっていました。これからは、みなとオアシスに様々な人が交流し、刺激を与え合うことで、新たなものを生み出す情報の流れの拠点にしていきたいです。みなとオアシス周辺は駐車場があり、景色も良いのですが、目的もなしに寄りつくような場所ではなく、利用者を増やすためには、来てもらうための目的作りが重要だと思っています。隣接するしおかぜ公園には親子で遊びに来ている光景をよく見かけますが、例えば親子連れをターゲットにするのであれば、その人たちにとってどんな場所にすれば良いのか、もっと目的を絞って考えることができます。誰にとって良い港にしていけるかが重要だと思います。

Q4 徳島県や小松島市を活性化させていくために、港をどのように活用できるでしょうか。

A 港からの地域活性化促進として、クルーズ船の誘致やみなとオアシスのような人が集まりやすい場所を有効活用していくことが挙げられます。クルーズ船が寄港すれば、多くの観光客が来県するため、県内の観光や特産品の購入、飲食等、良いビジネスチャンスになると考えています。また、みなとオアシスには、前述の交流スペースや会議室、カフェや産直市、周辺にはボードウォークや公園等、有効利用できるものがたくさんあり、さらには素晴らしい景色と相まって、にぎわいづくりの拠点になると考えています。これからも、徳島県や港の魅力を活かして、今より稼げる(大きな経済効果を生み出せる)地域にしていきたいですね。

【ご報告】事務所ホームページがリニューアル！

4月1日から当事務所のホームページがリニューアルしました！イベント開催情報や港に関する学習コーナー、新着情報等、皆様の求める情報をより分かりやすくお伝えできるようになっております。使いやすくなったホームページを皆様是非一度ご覧ください。ホームページは右下のQRコードからアクセスできます！



事務所新ホームページ

出前講座の申し込み受付中！

当事務所では、海と空の「みなと」のこと、また当事務所の仕事について、広く皆さんに知っていただくために、出前講座(みなと学習、環境学習、防災学習)を開講しています。楽しく学べる当事務所の出前講座、現場見学会のご依頼を受け付けています。



出前講座、現場見学のお問い合わせは・・・

当事務所 TEL **(0885)-32-3357**

または ホームページ「暮らしを支える港湾と空港の話」
<http://www.pa.skr.mlit.go.jp/komatsushima/>
よりお問い合わせください。



事務所新ホームページQRコード